

申請内容 (申請書からの転記)

	登録の区分	計画登録
全般	申請者名 (計画登録名)	株式会社都田建設
	申請代理事業者	株式会社ウェイトボックス
	事業者の主な事業内容	木造注文住宅建設事業
	申請案件の要旨	株式会社都田建設はこれまで事業所での電力使用量を 100%グリーン電力化したり、市民と一体になってエコイベントを実施するなど環境保全活動を行ってきました。今後はスコープ 1、2 およびスコープ 3 の一部 (営業活動・出張、雇用者の通勤) を含めた排出量の把握を行い、J-VER クレジット・国内クレジット等を使って全量オフセットすることで、カーボン・ニュートラル化を目指します。環境先進企業として地域へ積極的に発信していきます。
	組織等の境界	申請者と同一の法人単位
	活動の境界	【スコープ 1】 燃料の燃焼 【スコープ 2】 他人から供給された電気の使用 【スコープ 3】 出張 (移動、宿泊) 雇用者の通勤
	算定対象範囲	スコープ 1、スコープ 2 及びスコープ 3 (一部)
	CN 対象期間	2013 年 3 月 1 日～2014 年 2 月 28 日
	CN 計画期間	2012 年 12 月 15 日 ～ 2014 年 6 月 30 日
	認証の有効期間	—
認証ラベルの使用用途	—	
排出量の認識	算定対象範囲における温室効果ガス排出源	事務所の給湯用の LPG 使用、営業車のガソリン使用、事業所での電力使用、出張、研修の移動にともなうエネルギー使用、出張・研修の宿泊にともなうエネルギー使用、通勤によるガソリン使用
	算定方法	【スコープ 1】 ・ 移動距離 ÷ 燃費 × 単位発熱量 × 排出係数 ・ 燃料使用量 × 単位発熱量 × 排出係数 【スコープ 2】 ・ 電力使用量 × 排出係数 【スコープ 3】 ・ 宿泊費 × 排出係数 ・ 交通費 × 排出係数 ・ 通勤距離 ÷ 燃費 × 単位発熱量 × 排出係数 <排出係数参照元> 環境省 カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン

		国立環境研究所 産業連関表により環境負荷原単位データブック
	基準年排出量	175 t-CO ₂ (2011年3月1日～2012年2月29日)
	対象期間排出量	173 t-CO ₂
	(任意) スコープ 3 排出量の算定結果	①出張・研修の移動 (基準年) : 3.91t-CO ₂ ②出張・研修の宿泊 (基準年) : 0.86 t-CO ₂ ③事業所からでる廃棄物 (焼却処理, 2011年度) : 20.1t-CO ₂ ※ ①②を算定対象範囲に含めている。③は把握のみ。
排出削減	組織等の境界内における温室効果ガス排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・排出量を原単位 (売上百万円当たり) で 1%削減する。 ・エアコンの温度設定を暖房 20 度冷房 28 度とし、必要時以外の使用を控え、電力使用量を低減する。 ・照明はこまめに消すことで電力使用量を低減する。 ・自転車通勤を推奨する。 ・物品のグリーン調達を推奨する。 ・木造住宅の CO₂ 排出量を調査する。
	(任意) 組織等の境界外における申請者 (認証取得者) 自身の排出削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅のライフサイクルにおける環境負荷を把握し、より環境負荷の低い素材への変更・提案を行っていく
	(任意) スコープ 3 排出量の削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通勤を推奨
埋め合わせ	認証制度名	<ul style="list-style-type: none"> ・ J-VER 制度 ・ 国内クレジット制度
	クレジットの種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ J-VER 制度 J-VER ・ 国内クレジット制度 国内クレジット
	プロジェクト名 (プロジェクト実施国・実施地域を含む)	日本
	プロジェクトタイプ	未定
	無効化日	2014年4月～5月 (予定) <ul style="list-style-type: none"> ・ J-VER 登録簿の無効化口座へ移転 ・ 国内クレジット 償却講座への移転